

作文部門グランプリ「平山郁夫大賞」受賞

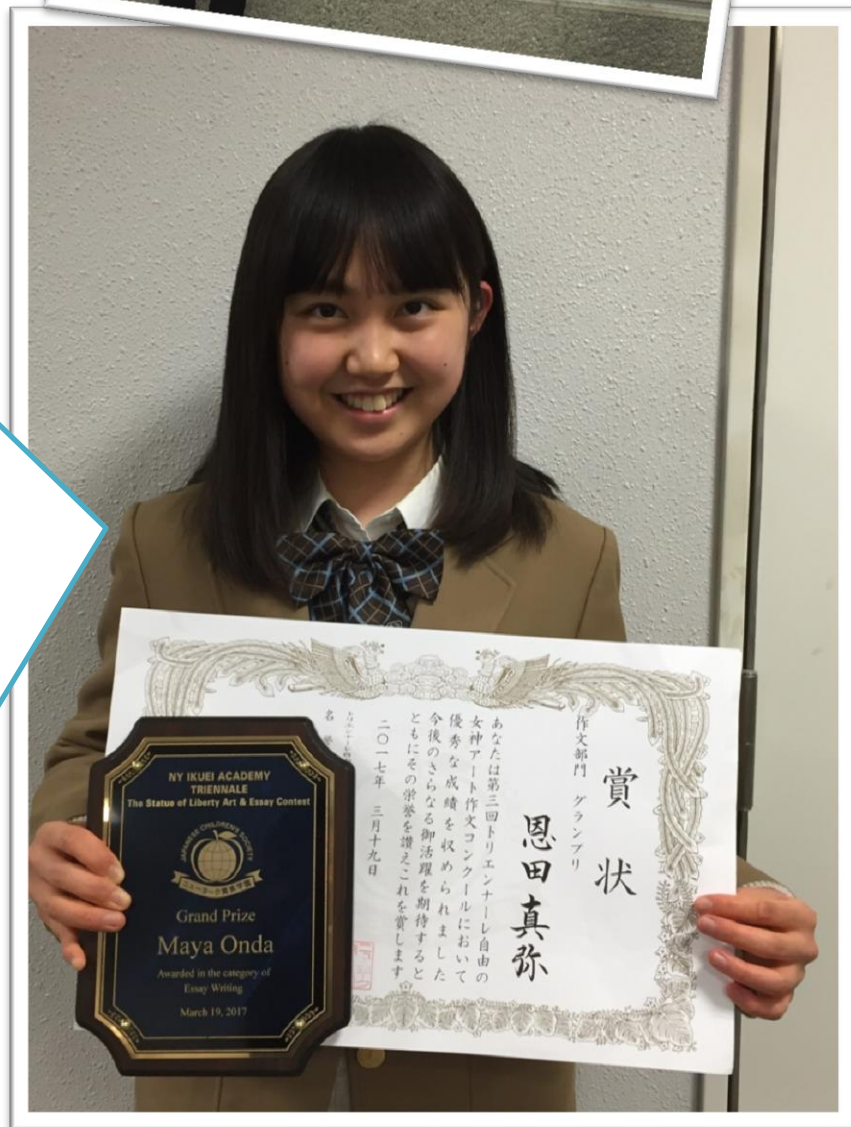
高等学校第2学年

おんだ まや
恩田 真弥さん

(ぐんま国際アカデミー／日本，群馬県)

私は、学校の先生の勧めで、この作文コンクールのことを初めて知りました。そして、この作文コンクールの、『ありがとう』と言いたいという作文テーマが、愛する祖父との思い出をなんらかの形で残しておきたいと思っていた私の気持ちとぴったりあっており、是非このチャンスを生かし、祖父との思い出を綴りたく、応募しました。祖父からもらった、たくさんの愛情や励ましがあったからこそ、頑張っている今の自分があるような気がします。祖父には、感謝の気持ちをいくら言い尽くそうとしても言い尽くせないのに、生前、祖父に「ありがとう」と伝えることができなかつた事を、この作文を通して表現することができ、本当に良かったです。

さらに、今回このような素晴らしい賞を頂くことができ、大変驚いております。本当に、ありがとうございます。いち早く、私は祖父のお墓参りに行き、祖父との思い出についての作文が受賞したことを、祖父に報告しました。きっと、天国で私を見守ってくれているであろう祖父は生前同様、「まやは偉い！自慢の孫だ！」と私を褒めてくれていることでしょう。そんなことを思うと、何だか私は温かい気持ちになり、祖父のぬくもりを感じました。



作文部門小学校中学年の部「金賞」受賞

小学校第4学年

なかじま りおん

中島 凛音さん

(ベルリン日本人国際学校)



ニューヨーク育英学園様

トリエンナーレ自由の女神アート作文

コンクールで金賞になった中島凛音です。
作品集と賞状と立派な夫てが届きました。

ありがとうございました。

私の作文を通して、命の尊さに気付く人が
一人でも増えるとうれしいです。今も戦争の影が

しのびよってきていますが、人の命を奪う戦争は
絶対にしてはいけないと思います。

私は4月から日本の学校へ通っています。
日本でも精一杯がんばりたいです。

中島 凛音

絵画部門「特別賞」受賞

小学校第1学年

ずし みさき
図司 実早紀さん

(小牧市立一色小学校／日本，愛知県)

わたしは、とくべつしょうになったことをきいたとき、とてもびっくりしてしまいました。そして、だんだんうれしくなりました。ニューヨークへひょうしょうしきには出られませんでした。学校でひょうしょうしてもらえることになりました。そして、校長先生から、しょうじょうをもらいました。それに、みんなにはくしゅされて、うれしかったです。もらったものはしょうじょうとたてでした。そして、ともだちが、「わたしもかけばよかった。」と言っていました。

わたしは、これからもいろいろなことにちょうせんしたいです。

図司実早紀

